

# コマツ コミュニケーション レポート

## KOMATSU COMMUNICATION REPORT

激動する時代、メーカーはどのようにこの変化に挑み、取り組んでいるのか。コマツの製品をお使いのユーザーの方々をレポートしてご紹介いたします。第9回目の今回は、様々なコマツのプレス機を活用されて、顧客のニーズに迅速に対応されている、静岡県浜松市の三豊工業株式会社様にお話をお伺いしました。



### Vol. 9 プレス金型設計製作・プレス加工・溶接加工メーカー 三豊工業株式会社

本 社 〒433-8117 静岡県浜松市高丘東2-6-8 TEL.053-436-5151  
第二工場 〒433-8118 静岡県浜松市高丘西2-13-22 TEL.053-436-5152  
創 業 1964(昭和39)年 代表取締役 岡田 光司 資本金 1,000万円  
社員総数 71名

トップに聞く。

## 『 顧客のニーズに即決対応できる 企業体質造りを目指します。 』

●現在様々なメーカーから高い信頼を得られているとお聞きしますが、創立当初はどのような状況でしたか。

昭和39年に浜松市の佐藤町において、プレス金型製作から始めました。

その後すぐにプレスの機械も導入し、金型製作からプレス加工、さらに溶接から組立まで一貫して行ってきました。

当時から地域柄、自動二輪車部品のプレス加工を中心に行ってきたのですが、企業方針にもある様に、顧客のニーズに即決対応すべく四年後の昭和43年に同市の高丘町へ移転すると同時に順送加工を、さらに平成元年には、コンピューターによる生産管理を開始しました。

また、昨年5月には第二工場を開設し、更なる合理化を図りました。

創業以来、オートバイブームの影響により



●品質の確かさを裏付ける、様々な表彰



●本社事務所

生産に追われた時期もありましたが、やはり手掛けてきた製品の性質上、金型が最大の決め手となるため、金型技術には最も力を注いできました。

●御社の企業理念をお聞かせ下さい。

企業方針として掲げてもいるのですが、「顧客のニーズに即決対応の企業体質を造ろう」「Q.C.D(品質・コスト・納期)で信頼される管理体制を築こう」をモットーに、社名の意味する「お取引様・会社・従業員」の三つに恵まれるように心掛けています。

品質・コスト・技術力・管理・会社の姿勢。これらを5本の柱として常に努力を積み重ねて行きたいと思っています。



進化はここから生まれる。

## 現場を捉える。

最高の品質を追求したモノづくり。

工場では徹底した品質管理と原価低減意識を持ち、社員全員が一丸となって仕事に取り組んでいる。

さらにメーカーの信頼に応えるための積極的な技術革新も推進している。



●プレス加工主体の第二工場

- 手掛けられている製品特有の状況などお聞かせ下さい。

やはり主にオートバイの部品加工を手掛けていますので、製品サイクルが早いということが挙げられます。まさに多品種小ロットそのものですね。

その様な状況の中、他社との競争に於いて、弊社では金型製作を100%内製化していますのでそれを活かして、数量が少なくても順送加工できるものはなるべく順送で行い、コスト面での競争力を付けていくことが重要であると思っています。

また、今はメーカー様もスピードをかなり要求されますので、短納期で金型を作らなければなりません。そのために、弊社では、社内規格である程度作り込んでおくことにより、単純なものと、3日間で完成させたりしています。

さらに、作る前にお客様の設計者の所へ伺って、我々のノウハウを提供し、設計から携わらせて頂くなどということも行っています。

- かなり金型技術を重要されていますが。

どうしてもオートバイ部品の場合は償却台数が少ないですから、トータルコストのうち金型の占める割合が大きいため、如何に金型を短納期でコストを抑えて製作するかが大きな課題になるのです。

そのため、100%内製化し短納期で金型を製作することにより、製品のトータルコストを抑え、他社との競争力を付けているのです。

これは自動二輪車に携わる宿命でしょうね。

また、プレス加工において安定した品質を得るには、金型の作り込みが非常に重要です。

誰が加工しても品質のバラつきがない様に金型の技術を高めていけば、その面からもコストが抑えられるのです。



●金型設計ルーム



●金型加工機



●自動倉庫ラック





● 確かな品質の製品群

●生産管理にもかなり力を注いでいるのですが。

生産管理システムにより材料の共用化ができ、多品種小ロットでも金型を変えるだけでひとつのコイルで加工出来るのです。

コイル化することにより生産コストを抑えられる、つまり生産管理がトータルコストの低減につながるのです。

弊社の生産管理システムのソフトは現場の声をもとに内製化で作られたため、材料発注から完成品まで全て一人で出来る様になっています。

また品質システムの構築と定着化を目指しISO9000シリーズの取得に向けた活動も行っています。



●ISO認証取得に向けた活動も積極的に行われている

さらに出荷の際の品番管理にも、デジタルカメラで製品毎の写真を撮り、バーコード管



●デジタル写真とバーコードによる製品の管理

理するという工夫を凝らしています。

このことにより、出荷の際に品番と写真の双方で確認できるため、ラベル違い等の防止に役立てるなど、お客様の御迷惑にならぬ様に心掛けています。

●今回コマツのE2W200を導入された理由と御感想をお聞かせ下さい。

「順送化をもう少し幅広く行いたい」「部品が複合化され、材料も硬くなってきている中、トン数の大きい機械が必要になった」ということで、コマツのE2W200を導入しました。

まず製品の品質が安定していますね。

また、口開きがないため金型のもちが良くなりました。

金型のメンテナンスは、一番手間の掛かる事なので、もちろんコストにも影響してきます。

その必要性がなくなったという事は、コスト削減が求められている現在、大変重要なことです。

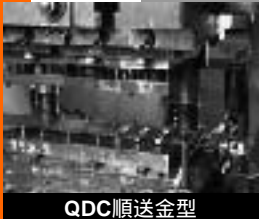


●これからの活躍が期待される、コマツE2W200

●生産性を上げる環境作りにも、工夫されているそうです。

週に一度グループのリーダーを集めてミーティングを行い、従業員の現場の声を聞き、実際にそれを職場に反映させてみたりと、従業員の知恵を出しながら生産性の上がる環境作りを行っています。

現在金型グループでは3人単位で、設計からMCNC加工、組立トライまで3ヶ月単位で違う分野を担当し、全員の技術を向上させていますが、これも製造現場から出された発案です。



QDC順送金型



溶接ロボット + ジグ

●生産性を上げる環境作りも、様々に考慮されている

●今後の業界の動向と、御社の姿勢についてお聞かせ下さい。

やはり一番気になるのは、今後東南アジアの企業が、この業界にどの様に進出してくるかということです。

当然、コスト的になかなか厳しい戦いを強いられることが予想されます。

ただ、自動二輪車は先にも述べましたが、サイクルが早いのでこちらから設計

### 製品紹介



#### ■主要仕様

機種	E2W110		E2W160		E2W200		E2W250		E2W300					
	HVS	SVS	HVS	SVS	HVS	SVS	HVS	SVS	HVS	SVS				
加圧能力	kN(ton)		1100(110)		1600(160)		2000(200)		2500(250)		3000(300)			
ストローク長さ	mm		110		180		130		200		150		250	
ストローク数	mm		50~100		35~70		45~85		30~60		35~70		30~50	
ダイハイト	mm/s		400		460		500		550		600		600	
スライド調節量	mm/s		100		100		120		120		200		200	
スライド寸法 (左右×前後)	mm		1400×520		1600×580		1850×650		2100×700		2100×900		2100×900	
ホルスタ寸法 (左右×前後)	mm		1660×700		1850×760		2150×850		2400×950		2400×1200		2400×1200	
許容上型重量	mm		1200		1500		2000		2000		2000		2000	
主電動機出力	kW		11×4		15×4		22×4		30×4		37×4		37×4	
空気圧力			0.49 (5)		0.49 (5)		0.49 (5)		0.49 (5)		0.49 (5)		0.49 (5)	

お問い合わせは

コマツ産機株式会社 鍛圧KBU 企画グループ

〒140-0013 東京都品川区南大井 6-3-7 アーバンネット南大井ビル

TEL. 03-5561-2692 FAX.03-5561-2877

段階から携わらせて頂き、短納期すなわち即決対応することと、製品品質で対抗して行くつもりです。

また国内では、加工業者の後継者問題といった点も懸念されてきています。

この点に関しましても私どもでは、協力企業の育成や独立の支援等の活動を行って対応しています。

このように、我々は常に業界の動向を察しながら、それに敏速に対応し、今後ともお客様のニーズに即応すべく高品質を心掛け、全社員の心を集結して不断の努力を積み重ねて行きたいと思っております。

## KTS-Net

コマツとお客様を結ぶ  
ネットコミュニケーション

KTS-Netとは、プレス機械を活用して革新的なプレス加工を追求されているユーザーの方々の集まりです。皆様の情報受発信の場として、是非ご利用ください。また今後もこの誌面でKT-Netのおお客様をご紹介させていただきます。ご入会をご希望の方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。